年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　国語　　科目 国語表現

教　科：国語　　科　目：国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　M，E，Aコース

使用教科書：（ 国語表現（大修館書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の「話す」「聞く」「書く」知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を効果的に使うことを通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「言葉と出会う」 【知識及び技能】 文章を書く基本として、表記のきまりや正しい言葉の用い方の知識を持ち、分かりやすい整った文の書き方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記や言葉遣い、分かりやすく整った分の表現の仕方を踏まえ、自覚的、意識的に言葉を使って書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を効果的に使うことを通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・教科書の「ポイント」などの説明を踏まえ、教科書の例題や補足資料を通して、基本的な表記のきまりや正しい言葉の用い方、整った分かりやすい文の書き方について確認し身に付ける。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		【知識及び技能】 文章を書く基本として、表記のきまりや正しい言葉の用い方の知識を持ち、分かりやすい整った文の書き方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記や言葉遣い、分かりやすく整った分の表現の仕方を踏まえ、自覚的、意識的に言葉を使って書くことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を効果的に使うことを通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	23
	定期考査									1
2学期	「伝える、伝え合う」 【知識及び技能】 「話す」「聞く」「書く」ことを通したコミュニケーションの知識や技能について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を効果的に使うコミュニケーションを通して他者や社会に関わろうとする。	・教科書の「ポイント」などの説明を踏まえ、教科書のワークを通して、自己紹介・傾聴、５Ｗ１Ｈ、説明の方法などの基本的なコミュニケーションのスキルについて確認し身に付ける。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		【知識及び技能】 「話す」「聞く」「書く」ことを通したコミュニケーションの知識や技能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、積極的に、言葉を効果的に使うコミュニケーションを通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	27
	定期考査									1
3学期	「小論文・レポート入門」 【知識及び技能】 感想と意見文・小論文の違いについて理解することができる。自分の意見を根拠を示し論理的に書く意見文・小論文の書き方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を納得させるために、自分の意見を深め、構成を考えて整理し、まとまった意見文・小論文として表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、社会生活で必要とされる自分の意見を表現する文章の技能を積極的に身に付け、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教科書の「ポイント」などの説明を踏まえ、感想と意見の違いを理解し、構成メモを作成することを通して、構成を意識して意見文・小論文を書くことを身に付ける。 ・反論を想定して意見文・小論文を書くことを身に付ける。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		【知識及び技能】 感想と意見文・小論文の違いについて理解している。自分の意見を根拠を示し論理的に書く意見文・小論文の書き方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を納得させるために、自分の意見を深め、構成を考えて整理し、まとまった意見文・小論文として表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活で必要とされる自分の意見を表現する文章の技能を積極的に身に付け、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査									1